

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

COVID-19罹患患者の長時間腹臥位療法効果の検討

1. 研究の対象

2020年1月から2021年2月においてCOVID-19の診断にて入院した症例で、かつ腹臥位療法を実施した重症症例
ただし、非挿管症例、データ欠損症例を除く。

2. 研究目的・方法

2019年のCOVID-19発症確認から、現在まで感染者数は増加し続けています。また、重症者数も増加しており、重症管理に対する評価および介入が必要であると考えられます。

一般的に重度の低酸素血症を認める患者に対しては、腹臥位による呼吸管理を行う腹臥位療法が推奨されており、重症COVID-19の患者においても長時間の腹臥位療法が推奨されています。

しかし、その治療効果についての報告は本邦において未だ多くはありません。そのため当院での経験例を対象に、重症COVID-19における長時間の腹臥位療法と酸素化の改善について、調査することを目的として研究を行います。

研究の期間は2021年4月19日～2021年12月末を予定しています。

3. 試料・情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。

その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

研究対象者背景：性別、年齢、身長、体重

医学的情報：既往歴、重症度、血液生化学検査、薬剤情報、人工呼吸器関連情報

入院経過情報、リハビリ経過情報

など

5. 外部への試料・情報の提供

個人情報等の取り扱いについては、個人が特定できないようにコードを付与します（匿名化）。本研究では試料は扱いません。

6. 研究の実施体制

<研究責任者>

リハビリテーション科 理学療法士 堀 雄介

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産^{ちてきざいさん}の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧^{えつらん}することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

〒596-0042 大阪府岸和田市加守町4丁目27-1

072-445-9915 (代表)

岸和田徳洲会病院 リハビリテーション科 理学療法士 堀 雄介

または

岸和田徳洲会病院 臨床試験センター (臨床研究担当者 宛)

(2021年4月9日作成)